

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 5 月 15 日

熊本市長 (宛)

## 提出者

住所 熊本市東区上南部2丁目6番1号

氏名 東陽道株式会社  
代表取締役 東 誠二

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 096-380-5588

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東陽道株式会社
事業場の所在地	熊本市東区上南部2丁目6番1号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合事業
②事業の規模	前年度元請完成工事高 644,113,000円
③従業員数	21人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物発生→分別・保管→収集・運搬(委託又は自社)→中間処分場(委託又は自社)→再生・リサイクル ↓ 最終処分場(委託又は自社)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (令和6年度) 実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファルト 殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
排 出 量	852.29 t	371.85 t	52.86 t	13.78 t	2.86 t	58.11 t	1.55 t	2.05 t
産業廃棄物の種類	水銀使用製 品廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
排 出 量	0.02 t	0.78 t	25.19 t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

- ・中間処理施設(委託・自社処分)にて、再生クラッシュラン、木材チップ等にリサイクルを図り、最終処分の減量を図った。
- ・工事現場での分別の徹底及び混合廃棄物の発生の抑制を図った。

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファルト 殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
排 出 量	770.00 t	330.00 t	47.00 t	12.00 t	2.50 t	52.00 t	1.40 t	1.80 t
産業廃棄物の種類	水銀使用製 品廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
排 出 量	0.02 t	0.70 t	23.00 t	t	t	t	t	t

(今後実施する予定の計画)

- ・各事業場での分別の徹底及びリサイクルの一層の促進を図る。

※目標値は、令和6年度と同一規模の工事を請負った場合の数値である。約10%の軽減を目標とする。

産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

①  
現  
状

- 1 分別している産業廃棄物の種類(建設副産物)  
(1) 再資源化可能品:コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材、建設汚泥、建設混合廃棄物  
(2) 再生資源品:土砂・金属くず等
- 2 分別に関する取組  
取組朝礼時における現場作業員への分別の徹底

②  
計  
画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

上記事項の指導・徹底

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファル ト殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品 廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファル ト殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品 廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施していない。									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファル ト殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の 量	91.80	t	t	t	13.37	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品 廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の 量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
・自社処分場において、廃棄物の減量を図った。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファル ト殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量	100.00	t	t	t	15.00	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品 廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									
・自社処分場の一層の利用を図る。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファルト 殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	0.56 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製 品廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
・自社処分場(最終処分)において、埋立処分をした。									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファルト 殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	1.00 t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製 品廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
・自社処分場(最終処分)一層の利用を図る。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファルト 殻	その他がれ き類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	全処理委託量	760.49 t	371.85 t	52.86 t	0.41 t	2.86 t	58.11 t	1.55 t	1.49 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t	t	0.41 t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	760.49 t	371.85 t	52.86 t	t	2.86 t	58.11 t	1.55 t	1.49 t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製 品廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
	全処理委託量	0.02 t	0.78 t	25.19 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.02 t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	t	0.78 t	25.19 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
・移動距離等の理由により自社中間処理場に搬入できない場合を除き、再生利用業者への処理を委託をした。									

【目標】									
① 計画	産業廃棄物の種類	コンクリート 殻	アルファルト 殻	その他がれ ぎ類	ガラス陶磁 器くず	廃プラス チック類	木くず	廃石膏ボー ド	石綿含有廃 棄物
	全処理委託量	770.00 t	330.00 t	47.00 t	12.00 t	2.50 t	52.00 t	1.40 t	1.80 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	70.00 t	30.00 t	5.00 t	1.00 t	0.30 t	5.00 t	0.10 t	0.20 t
	再生利用業者 への処理委託量	700.00 t	300.00 t	42.00 t	11.00 t	2.20 t	47.00 t	1.30 t	1.60 t
	認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	水銀使用製 品廃棄物	混合廃棄物	汚泥					
	全処理委託量	0.02 t	0.70 t	23.00 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.02 t	0.10 t	2.00 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者 への処理委託量	0.00 t	0.60 t	21.00 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者 への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)									
<p>・再生利用業者への処理委託を基本とするも、移動距離等を考慮し可能な限り優良認定処理業者との契約を優先する。</p>									
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(集計用シート)

提出者の名称	東陽道株式会社代表取締役 東 誠二	提出者の住所	熊本市東区上南部2丁目6番1号
事業場の名称	東陽道株式会社	事業場の所在地	熊本市東区上南部2丁目6番1号
内容年度	令和 7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量  A	自社内での処理状況				委託先での処理状況					
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量				
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J	
コンクリート殻	現状	852.29	0.00	0.00	91.80	0.00	760.49	0.00	760.49	0.00	0.00	
	計画	770.00	0.00	0.00	100.00	0.00	770.00	70.00	700.00	0.00	0.00	
アルファルト殻	現状	371.85	0.00	0.00	0.00	0.00	371.85	0.00	371.85	0.00	0.00	
	計画	330.00	0.00	0.00	0.00	0.00	330.00	30.00	300.00	0.00	0.00	
その他がれき類	現状	52.86	0.00	0.00	0.00	0.00	52.86	0.00	52.86	0.00	0.00	
	計画	47.00	0.00	0.00	0.00	0.00	47.00	5.00	42.00	0.00	0.00	
ガラス陶磁器くず	現状	13.78	0.00	0.00	13.37	0.00	0.41	0.41	0.00	0.00	0.00	
	計画	12.00	0.00	0.00	15.00	0.00	12.00	1.00	11.00	0.00	0.00	
廃プラスチック類	現状	2.86	0.00	0.00	0.00	0.00	2.86	0.00	2.86	0.00	0.00	
	計画	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.50	0.30	2.20	0.00	0.00	
木くず	現状	58.11	0.00	0.00	0.00	0.00	58.11	0.00	58.11	0.00	0.00	
	計画	52.00	0.00	0.00	0.00	0.00	52.00	5.00	47.00	0.00	0.00	
廃石膏ボード	現状	1.55	0.00	0.00	0.00	0.00	1.55	0.00	1.55	0.00	0.00	
	計画	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.40	0.10	1.30	0.00	0.00	
石綿含有廃棄物	現状	2.05	0.00	0.00	0.00	0.56	1.49	0.00	1.49	0.00	0.00	
	計画	1.80	0.00	0.00	0.00	1.00	1.80	0.20	1.60	0.00	0.00	
水銀使用製品廃棄物	現状	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	
混合廃棄物	現状	0.78	0.00	0.00	0.00	0.00	0.78	0.00	0.78	0.00	0.00	
	計画	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.70	0.10	0.60	0.00	0.00	
汚泥	現状	25.19	0.00	0.00	0.00	0.00	25.19	0.00	25.19	0.00	0.00	
	計画	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	23.00	2.00	21.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	現状	1,381.34	0.00	0.00	105.17	0.56	1,275.61	0.43	1,275.18	0.00	0.00	
	計画	1,240.42	0.00	0.00	115.00	1.00	1,240.42	113.72	1,126.70	0.00	0.00	